

雲

二年
筆順
画数
12
雲
ウン
くも

成り立ち



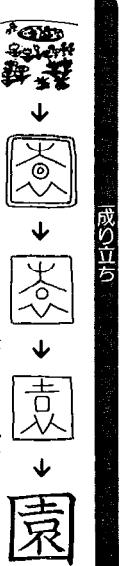
「くも」のかたちをあらわした「云」に、「雨(年4)」をくわえた字ですが、「くも」をあらわした字です。

「くも」は「雨」をふらせるもとので、「雲」という字につくられましたが、むかしは、ただ「云」だけで「くも」のいみにつかわれました。

〔云が「雲」になつたのは、「云」が「言う」の意味に使われるようになつたから、混同をさけるために雨を加えたものであろう。今の中國では、元にもどつて雲を「云」としている。〕

園

二年
筆順
画数
13
園
エン
エン
クン
その



成り立ち

〔園（エン）のいみをかりた「袁（エン）」と、囲（かこ）（4年553）いのみをあらわした「口」（くにがまえ）とを組み合わせて作つた字で「囲いのある苑（その）」をあらわした字です。〕

「花ぞの」のことを中国ではエンといいました。そのエンをあらわした字が「苑」です。これに囲いをしたのが「園」ですが、今では、同じようにつかわれています。

また、「にわ」のいみや、「やさいや花をうえた畠」のことにもつかわれます。〔例〕菜園（さいえん）。

〔袁は、丈の長い衣に、還ることを折つて環（○型の形）を縫いこめたものである。音のエンは、環の形が等しいのが普通である。〕

△青空に白雲がうかんでいるところは、まるでえのようになります。

△青空に白雲がかかるて、あたりはまづくらになりました。

△月に雲がかかるて、あたりはまづくらになりました。
△雨雲は、雨をふらせる雲です。雨雲がでてきたら、かさのよういをしなければなりません。

便り方

△青雲（青い空）に、たかくかかっている雲。または、雲がうかんでいる、たかい空のことをさします。「青雲のこころざしをいだいて、上きようする」といえば、「しうつせして、たかいみぶんにのぼろうとおもつて、とうきょううにいく」といういみになります。)

△白雲（白い雲）（風と雲。「風雲児」といえば、ぼうけんしんのあ

る、いさましい男の人のことをいいます。なぜかといふと、りゆうとうどうぶつが、風と雲にのつて、天までのぼると、むかしの人は、かんがえていたからです。りゆうは、どうぶつの中でも、いちばんえらい、すばらしいものでしたから、ぼうけんしんのある、いさましい男の人を、りゆうにたとえたのです。)

熟語例

- ▽新田さん（じゅうたさん）の庭園（ていえん）をはい見したが、それはそれは見事（みごと）でした。
- ▽わたしは『ひみつの花園』（ひみつのけいえん）という本をよみました。かぎで閉ざされた古い花園（なが）の中で、みにくい意地（いじ）のわるい小さな女の子（おとな）が、うつくしくかわいらしいむすめにかわっていく、とてもおもしろいお話を（はなし）しました。
- ▽おとうさんは、日（ひ）よ（ひ）う日（ひ）になると、菜園（さいえん）作りにはげんでいます。
- ▽わたしのすきな歌（うた）に、「園（その）の小百合（さりおり）、なでしこ（なでしこ）、垣根（かきね）の千草（ちくさ）、さよ（な）は汝（な）れをな（な）がむるおわりの日（ひ）なり」というのがあります。にわの花（はな）にさようならをする、といふいみの、しつとりした歌（うた）です。
- ▽庭園（ていえん）（庭（てい）のこと。とくに、よくけいかくして作った庭（てい）をいいます。）
- ▽花園（はな（の）えん）（花（はな）のさいていいる（ひう）いえん）。
- ▽菜園（さいえん）（野菜（やさい）のたけ）
- ▽田園（でんえん）（田（たけ）や畠（はたけ）のある、いなかのこと。「田園都市（でんえんとし）」といえれば、緑（みどり）ゆたかな都市（とし）のことです。）